

平成 28 年 1 月 6 日

関係機関 各位

山口県医師会長 小田悦郎

スギ花粉飛散初観測について

平素から花粉情報につきまして種々ご高配賜り厚く御礼申し上げます。

さて、1 月 1 日に柳井市、防府市、長門市の測定点で、本年初めてのスギ花粉(それぞれ 0.3 個/cm²、0.6 個/cm²、0.9 個/cm²)が観測されました。これに伴い、同日が本県における 2016 年のスギ花粉の初観測日¹⁾となります。

スギ花粉の飛散が本格的に始まるといえる飛散開始日²⁾は、本県では 2 月上旬になることが多いですが、気温が高ければ早まることもあります。

この飛散開始日までに 1cm²当たり 1 個以下のごく少量の花 pollen 飛散は続くことがあり、人によっては花粉症の症状が発現します。

1) 初観測日について

その年に初めてスギ花粉飛散が確認された日

過去の初観測日

平成 27 年	1 月 2 日	山口市	0.6 個/cm ²
平成 26 年	1 月 1 日	柳井市	0.6 個/cm ²
平成 25 年	1 月 1 日	宇部市	0.3 個/cm ²
平成 24 年	1 月 1 日	柳井市、平生町	0.6 と 0.3 個/cm ²
平成 23 年	1 月 1 日	宇部市	0.3 個/cm ²

2) 飛散開始日について

同一測定点で、1 月以降にスライドガラス 1cm²内にスギ花粉が 1 個以上捕集される日が、原則として 2 日以上続いた最初の日

過去の飛散開始日

平成 27 年	2 月 3 日	厚生連長門総合病院
平成 26 年	1 月 29 日	厚生連長門総合病院
平成 25 年	2 月 2 日	宇部・長門・田万川地区
平成 24 年	2 月 22 日	かめやまクリニック、厚生連長門総合病院
平成 23 年	2 月 18 日	厚生連長門総合病院

※山口県における 2016 年のスギ花粉飛散総数の予測と注意事項

昨年秋に実施したスギの木の定点調査の結果から、山口県の 2016 年のシーズンは平年を下回るスギ花粉飛散になるものと予測されます。一方、ヒノキはかなり多くの花芽が着いており、スギ・ヒノキの合計では、決して少くない花粉飛散になることが考えられますので、要注意です。ただし、花粉飛散は飛散期の天候にも左右されます。
(県医師会報平成 28 年 1 月号参照)

提供：一般社団法人山口県医師会

TEL: 083-922-2510 FAX: 083-922-2527

URL: <http://www.yamaguchi.med.or.jp>

山口県医師会花粉情報システム

I 目的

花粉症の軽減と予防を目的として、山口県医師会が主体となり、医療機関をはじめ山口県学校薬剤師会の協力の下、県民に対し花粉飛散状況や予測情報を提供する。

また、測定器具をダーラム型に統一し、各地区の飛散状況の変化も検討しながら、地域に密着した情報を提供するよう取り組む。

II 提供期間

毎年1月初旬（スギ花粉初観測日）からその年の4月下旬（ヒノキ科花粉飛散終了）まで。

イネ科花粉については、随時飛散個数を山口県医師会ホームページ上で提供する。

III 提供団体

山口県医師会花粉情報委員会

IV 提供情報

- 1 初観測日、スギ花粉飛散開始及び飛散終了宣言
- 2 飛散状況
- 3 飛散予測情報

東・中・西・北部の4ブロック

*2、3については、スギ花粉飛散開始日以降（例年2月上旬）に開始する。

*スギ花粉初観測日とは、その年初めてスギ花粉が測定された日。

*スギ花粉飛散開始日とは、同一測定施設で、1月以降にスライドガラスの

- 1 平方センチメートル内にスギ花粉が1個以上捕集される日が、原則として
- 2 日以上続いた最初の日と定義される。（公益財団法人日本アレルギー協会の定義による）

V システム構成

- 1 測定施設
県内22施設（医療機関・薬局・公的機関・個人）
- 2 測定方法
ダーラム型捕集器を使用。※詳細は本会HPの「測定方法」を参照のこと
- 3 測定状況・予測情報集約
山口県医師会事務局で集約
- 4 測定状況の解析、予測情報の作成
山口県医師会花粉情報委員会
- 5 情報提供
関係機関にFAX送信、山口県医師会ホームページ
(<http://www.yamaguchi.med.or.jp>) 上で、公開する。